

2022 年度

事業計画書

自 2022 年 5 月 1 日

至 2023 年 4 月 30 日

公益財団法人 A O K I 財団

I. 基本方針

2022年度は、当財団設立12年目になります。

これまで同様、教育振興活動として、長野県内の中学生を対象に“卓越した国家経営者の育成”を目的とした「ながの視察団 AOKI 咸臨丸」、長野・新潟・富山・石川・福井県内の中学生を対象とした奨学金事業「AOKI 塾」、横浜市在住及び横浜市内に主たる校舎を有する中学校に在籍の中学生を対象とした、日本のスティーブ・ジョブズを生み出し、教育に留めず起業までをサポートするインキュベータープロジェクト「AOKI 起業家育成プロジェクト」の支援を行います。

具体的な活動は、第7期「ながの視察団 AOKI 咸臨丸」の研修の継続と修了式、第6期「AOKI 塾」の募集活動、選考及び1年目の奨学金支給、第5回「AOKI 起業家育成プロジェクト」の募集活動と事業支援を実施予定です。

II. 事業計画の内容

(1) 第7期「ながの視察団 AOKI 咸臨丸」事業

■本事業の目的

長野県から日本の将来を担う人材を継続的に育成することを目指す。

■育成方針

日本を背負い、日本をより良くしようとする志を持った長野県内の中学生を対象に、月1回の研修と2回の海外視察を実施。さらに様々な経験の機会を提供し、卓越した国家経営者輩出の土台とするための研修機会を提供する。

- ① 政治、経済、歴史、芸術など、様々な分野の第一人者との面談や、講義、課題討議、実習などの研修の実施により、見聞を広げる。
- ② 海外視察を通じ（事前勉強⇒実施⇒振り返り）、視野を広げる。
- ③ 研修や海外視察などを通じて、真剣に日本の将来を考え、自らを成長させる。

■具体的事業内容

2022年度は、2021年度選抜されました12名の研修生を対象に、引き続き2022年12月まで研修会を予定しております。

研修内容は以下となります。

● 集合研修

毎月1回原則第4日曜日に長野市（あるいは松本市）にて、社会人基礎力を向上させる目的で、個人作業、課題討議、チーム活動及び英語での授業などを組み合わせて実施。また、海外視察研修や国内で面談する方々との研修が実り多いものとするように準備する。

● 海外視察研修

2022年8月には海外視察研修（北欧）を訪問予定。ただし新型コロナウイルス

ルス感染症の影響で渡航できない場合は、国内研修あるいはオンライン研修プログラムに変更。

- 国内での訪問・面談研修

国会議員の方々、経済界で活躍されているの方々、科学振興、文化・芸術振興の面で活躍されているの方々、社会貢献活動の分野で活躍されているの方々等との面談を予定。

- 修了式

2022年12月18日（日）長野市で実施予定。

■費用（2022年度分）

総額：	2,456万円
内訳：国内研修奨学金（実費費用）	605万円
海外研修奨学金※（実費費用）	1,423万円
研修会場設営費等	398万円
活動報告費	30万円

【ご参考 第7期分総額（2021年5月～2022年12月）】

総額：	5,162万円
内訳：国内研修奨学金（実費費用）	1,210万円
海外研修奨学金※（実費費用）	3,002万円
研修会場設営費等	765万円
募集選考費	25万円
準備活動費（募集広告・印刷費等）	130万円
活動報告費	30万円

※新型コロナウイルス感染症の影響で海外研修中止の場合は、国内研修あるいはオンライン研修プログラムに変更。

(2) 第6期「AOKI塾」事業

■本事業の目的

長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県内の向上心の高い生徒に、さまざまな学びができるよう奨学金を提供する。奨学金は月1万円で2年間、合計24万円を支給するものとする。支給方法は1年ごと12万円をまとめて支給する。

■奨学金の使い方

- ① 文学、科学、自然、芸術、美術、その他情操教育や向上心を高めることに役立つ書籍、雑誌などにかかる費用
- ② 科学館、美術館などの入館、クラシック音楽会やバレエ・ミュージカルなどの観劇、スポーツや文化イベント等への参加費用
- ③ ボランティア活動への参加費用
- ④ 県外や海外の生徒、学生との交流にかかる費用

- ⑤ 長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県の歴史、経済、文化を理解するためにかかる費用
- ⑥ その他、本企画の目的に合致すると考えられる活動費用

■具体的事業内容

2022 度は第 6 期のスタートの年にあたり、応募期間、応募方法、実施期間、活動内容等に関しては以下の通り予定している。

- ① 主 催：公益財団法人 AOKI 財団
- ② 募集対象：長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県内市町村在住の中学生
- ③ 募集人員：定員 30 名
- ④ 募集開始：2022 年 6 月（予定）
- ⑤ 応募方法：応募書類及び作文の提出
- ⑥ 選考方法：書類選考
- ⑦ 活動内容：2022 年 9 月に 1 年間分 12 万円を各自に支給。
中間報告会（2023 年 8 月）を実施予定。

■費用（2022 年度分：2022 年 5 月～2023 年 4 月）

総額：	800 万円
内訳：支給奨学金(30 名分・1 年分)	360 万円
準備活動費(募集広告・印刷費等)	440 万円
【ご参考 第 6 期分総額（2022 年 5 月～2024 年 4 月）】	
総額：	1,260 万円
内訳：支給奨学金(30 名分・2 年分)	720 万円
準備活動費(募集広告・印刷費等)	440 万円
研修会場設営費等(中間報告会)	100 万円

(3) 第 5 回「AOKI 起業家育成プロジェクト」事業

■本事業の目的

将来の日本経済を牽引する起業家を育成することを目指す。

■育成方針

感性豊かで柔軟な思考・行動が可能な中学生を対象に、起業体験ワークショップ、起業家との交流、起業家に必要な育成講座、ビジネスプラン策定及びプレゼンテーション・イベント、海外視察への参加費用を支給する。

■具体的事業内容

2022 年度は第 5 回のスタートの年にあたり、応募期間、応募方法、実施期間、活動内容等に関しては以下の通り予定している。

- ① 主 催：AOKI 起業家育成プロジェクト実行委員会
- ② 特別後援：公益財団法人 AOKI 財団
- ③ 後 援：横浜市教育委員会

横浜国立大学成長戦略研究センター
一般財団法人 神奈川県私立中学高等学校協会

- ④ 協 力：Space BD 株式会社
- ⑤ 研修期間：2022 年 9 月（結成式）
2022 年 10 月～2023 年 8 月（月 1 回研修）
2023 年 8 月（海外研修）
2023 年 9 月～11 月（月 1 回研修）
2023 年 12 月（修了式）
- ⑥ 募集対象：横浜市在住及び横浜市内に主たる校舎を有する中学校に在籍
の中学生
- ⑦ 募集人員：定員 12 名
- ⑧ 募集開始：2022 年 7 月（予定）
- ⑨ 応募方法：応募書類及び作文の提出
- ⑩ 選考方法：有識者からなる選考委員会に於いて選考
一次書類選考
二次グループディスカッション・面接
- ⑪ 研修内容
- 集合研修
毎月 1 回横浜市にて、ビジネス編（Space BD 主導）と人間力編（北川
達夫先生）のカリキュラムを実施。ビジネス編はグループワーク、人間
力編は個人ワーク。
 - 海外視察研修
従来のシリコンバレー視察あるいはボストンを予定

■費用（2022 年度分：2022 年 5 月～2023 年 4 月）

総額：	3,975 万円
内訳：国内研修奨学金(実費費用)	2,750 万円
企画運営費(業務委託料)	500 万円
研修会場設営費等	130 万円
募集選考費用	20 万円
準備活動費(募集広告・印刷費等)	575 万円

【ご参考 第 5 回分総額（2022 年 5 月～2023 年 12 月）】

総額：	7,500 万円
内訳：国内研修奨学金(実費費用)	4,450 万円
海外研修奨学金(実費費用)	1,100 万円
企画運営費(業務委託料)	1,000 万円
研修会場設営費等	280 万円
募集選考費用	20 万円
準備活動費(募集広告・印刷費等)	650 万円

Ⅲ. 2021 年度の活動状況

2021 年度は、2020 年度よりスタートしました第 5 期「AOKI 塾」の中間報告会の実施及び 2 年目の奨学金支給、第 4 回「AOKI 起業家育成プロジェクト」の研修を支援しました。

また新型コロナウイルス感染症の影響で 2020 年度の開始を延期しました第 7 期「ながの視察団 AOKI 咸臨丸」の募集を、2022 年 5 月にスタートし 12 名の研修生を選抜いたしました。9 月より月 1 回の研修会をスタートし、10 月には結成式を開催いたしました。

なお第 7 期「ながの視察団 AOKI 咸臨丸」、第 4 回「AOKI 起業家育成プロジェクト」では、「新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン」を作成し、ガイドラインに基づく研修会を実施しております。



第 7 期「ながの視察団 AOKI 咸臨丸」結成式（2021 年 10 月 24 日）

Ⅳ. 管理部門

当財団の収入は、基本財産運用収入、有価証券運用収入及び株式会社 AOKI ホールディングスと株式会社アニヴェルセル HOLDINGS からの寄付金で賄われております。同財団の収入額は一定額であるため、当該収入を効率的に、かつ効果的に貢献できるよう諸管理活動については、必要最低限度の支出にとどめ、評議員、理事及び事務局の英知を集結して活動を実施してまいります。また、新型コロナウイルス感染症拡大等の状況に応じて、臨機応変に対応する予定です。

なお、2021 年度に引き続き、評議員、理事及び事務局の方々には無報酬にて、ご参加いただく予定です。